

11.15 北富士 日米共同演習粉碎・入会地奪還 奮争へ

入会地奪還・日米共同演習粉碎闘争が11月15日現地北富士で開かれます。我々は、米帝レー・ガンの戦争挑発策動による日帝の軍大化・改憲攻撃と加えて、日帝が体制危機ゆえの急にその生きる道として侵略戦争へうつて出るという、この急には、すべての人民を犠牲にするという、こうした、暗黒と反動の攻撃を断固として粉碎しなければならない。北富士に於ける日米共同演習こそ戦争準備のための自衛隊の侵略軍隊化であり、実戦訓練そのものである。同時に、忍草農民への暴力行使をもつてする庄稼攻撃である。三里塚・北富士を結ぶこれらこそ、三里塚闘争を基軸に沖縄をはじめ全国の基地闘争、反核、反戦の戦列を固め、拡大し、闘いに決起するものである。その為に、十一月十五日北富士闘争に決起しようではありませんか。

侵略軍隊づくり・日米共同演習

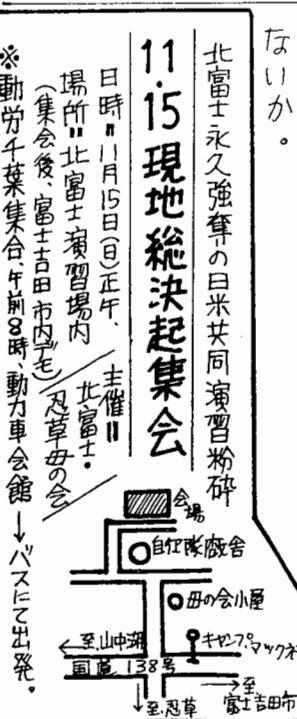
日本帝国主義が危機打開のために、延命してゆくために、みずからの一にぎりの資本主義者(女)ために、朝鮮・アジアに向っての侵略戦争にうつて出る、つまり、今日の軍事大國化・改憲攻撃をおこし進めて、「軍備増強・戦争準備・憲法改定して、国民を統動員する、今年度、「防衛白書」によると、「守るべきものは、国民であり、國土であると同じに、多様な価値観を有する国民にそれを実現するため、最大限の自由を与え得る国家体制である。」「我々国民は、不正な侵略から自由な平和な生活、経済的繁栄(?)は美しい国土を守るために最善の努力を尽さなければならぬ。これは國民一人一人の務めである」とよく言ったものです。自由な平和な生活、「美しい国土」虚偽に満ち満ちた、言葉を並べ、本音は「守るべきは國家体制」でした。

更に、「美しい国土」など言ひながら、自らが、國家権力を統動員し、三里塚・北富士などを暴力的に破壊しつくし、そこに存在する、住民・農民などは、殺してもかまわないという訳だ。こんなことがどうして許されうか。住民・農民から「自由で平和な」生活を奪いさり、住民・農民から土地を強奪する、そして侵略戦争を想定した、日米共同作戦計画の実戦訓練であり、この演習は、数十万の日米の両軍が富士一帯を武装制圧し、富士の美しい原野を破壊し尽す、ものである。

これが、北富士の日米陸軍共同演習のすべてである。



千葉市要町二一八(動力車会館)
(鉄電)二九三五六・(公衆)四三七二〇七



「富士を、戦争と侵略の基地にするな!」
戦後35年間、不屈に闘い続ける忍草農民

われわれは、三里塚闘争を基軸にすえた、労働運動、反戦闘争の真髓を向むけるものとして、この北富士闘争に決起しなければならない。

北富士闘争の中心的担い手である忍草母の会の渡辺喜美江さんの言葉の一部を引用すると、「日米合同演習を始めようとしているが、そこには絶対反対です。ここ北富士を戦争と侵略のための軍事基地にしようとしている。私達の願いは、基地をなくして、ここを昔の平和な村にし、土地をとり返して、百姓をして生活して行きたいのです。そのことを一番大事にして開いていますから、権力に対しても絶対に頭を下げない。どんな事があつても村のために開く。自分個人の問題ではないのですから。政府はこの土地を奪つて戦争の基地にして村を分裂させようとしていますが、私達は絶対に負けない。」この言葉に、我々は、階級闘争に絶対的に責任をもつ者として断固答へなければならぬ。

11.15 北富士闘争に、三里塚二期決戦との結合をもつて決起し、闘いぬこうではないか。